



ばるっこ

学校教育目標

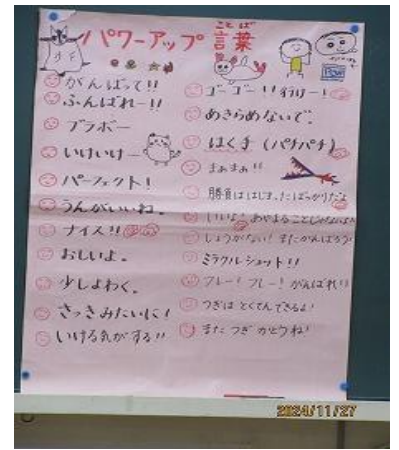
～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

チームワークのよさがよく見られたボッチャ (たんぽぽ学級)



11月27日(水)5校時に、たんぽぽ学級の子どもたちと職員でボッチャをしました。この時間は、生活単元学習の一環でたんぽぽ学級の児童全員で学習に取り組みました。ボッチャは「どれだけボールを的に近づけることができるか」を競うシンプルなルールです。たんぽぽ学級の子どもたちは、当日を迎えるまでに、オリンピックやパラリンピックの種目を調べたり、実際にボッチャの体験談を聞き、競技の楽しさを感じ取ったり、基本的なルールやボールの投げ方を練習したりするなど継続して学習に取り組んできました。当日は、たんぽぽの子どもたちの3つのチーム「ゼンカチチーム」「エネルギーズ」「ペルソナ」と職員とで試合をしました。子どもたちは、単にボッチャを楽しむだけでなく、チームの一員としての協力、クラスの中での役割など高い意識をもって取り組んでいる姿をたくさん見ることができ、子どもたちの4月からの成長を感じる時間となりました。(以下は子どもたちの感想の一部です。)

○昨日5時間目にボッチャをしました。ミラクルショットを打って良かったです。応援はパワーアップ言葉を七人で使いました。

○きのう五時間目に、生たんでボッチャをしました。先生がたとしてうれしかったです。

○きのう五時間目にボッチャの大会がありました。先生とたたかいました。第一エンドは、2ポイントゲットしました。第二エンドはスナイパーみたいに投げて1ポイントゲットしました。合計で3対1で勝利しました。勝ててうれしかったです。

○ゼンカチチームは、1点取りました。1点とれてうれしかったです。

【生活単元学習とは?】

生活単元学習は、学校の教科書だけでなく、日常生活の中での経験や活動を再現しながら学んでいく仕組みになっています。例えば、学校で料理や買い物、交通ルールや遊びなど、子ども達が日常的に行うことを毎日繰り返し行うことで、生きるうえで必要な知識やスキルを身につけていくということになります。